

お祝いの言葉

一般社団法人日本森林技術協会を代表して、一言お祝いの
ご挨拶を申し上げます。

コロナ禍の下ではありませんが、「新しい生活様式」を踏
まえた工夫を凝らし、会員の皆様を始め、関係の皆様多数
が参加する形で、東北森林科学会第26回大会が盛大に
開催されますことをお祝い申し上げます。

御参会の皆様には、長年にわたって培われてきた林業
の歴史と伝統の上に、豊かで多様な森林をフィールドと
して、森林・林業に関わる幅広い研究を地道に続けられ、
多大な成果を上げてこられました。皆様のご尽力に心か
らの敬意を表する次第です。

さらに、この大会を機に、皆様の研究が一層の深化を遂
げ、成果を挙げられますよう、心から祈念申し上げます
次第です。

さて、私ども日本森林技術協会は、お陰様で創立から数
えて丁度百周年を迎えました。この間、我が国の森林・林
業に関わる技術の改良や普及に一貫して取り組んでまい
りました。

その原動力となっているのは、まさに皆様が研究を通じて産み出された成果そのものであり、私どもの活動は皆様抜きには語るできません。

時あたかも、森林・林業の再生、林業の成長産業化が叫ばれ、国の重要政策の一つとなっている折、それを支え、確実にしていく上で技術イノベーションが欠かせません。こうした中で、森林環境譲与税が本格的に稼働しており、地域の森林整備等が飛躍的に活性化するものと期待されています。

協会は、皆様とともに、こうした期待に応え、森林・林業の発展に貢献して参りたいと考えております。この場をお借りして、御参会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、御参会の皆様のご健勝とご発展、並びに東北森林科学会の益々のご発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和3年11月

一般社団法人日本森林技術協会

理事長 福田 隆政